



10 August 2022

リリースノート

AtomOS 10.81.00

CONNECT に関するアップデート

Ninja V と ATOMOS CONNECT

重要：

このファームウェアアップデートで導入された機能は、Ninja V を ATOMOS CONNECT アクセサリーと組み合わせて使用する場合にのみ利用可能です。

本リリースで導入された新機能の詳細につきましては、FAQ をご覧ください。
または、ユーザーマニュアルの CONNECT セクションをご覧ください。

<https://atomos.zendesk.com/hc/en-us/sections/4978024946063-NINJA-V-USER-MANUAL>

ATOMOS Cloud Studio で Frame.io をセットアップする前に、デバイスマニュー内のタイムゾーン、日付、時刻が、正しく設定されていることを確認してください。

Ninja V と ATOMOS CONNECT の組み合わせで問題が発生した場合は、support@atomos.com までご連絡ください。

インストール時の手順：

ATOMOS では Ninja V を主電源に接続し、ファームウェアのアップデートを行うことを推奨しています。

1. フォーマットされた対応 SSD をドッキングステーションに挿し込んでください。
2. ダウンロードしたファイルを解凍し、ATOMNJV.FW を SSD のルートにコピーしてください。
3. SSD をドッキングステーションから抜いてください。(OS のガイドラインに従います)
4. Ninja V に SSD を挿し込んでください。
5. Atomos Connect をお持ちの方は、モジュールのファームウェアアップデートをする必要がありますので、電源投入前にモジュールが Ninja V に接続されていることをご確認ください
6. Ninja V の電源を入れると、自動的にファームウェアのアップデートが開始されます。

7. Ninja V の電源が既にオンになっている場合は、新しいファームウェアを含む SSD を挿入すると、ファームウェアの更新を実行するよう促されます。
8. アップデートが完了すると、Ninja V の電源がオフになります。
9. Ninja V の電源を入れると、Ninja V が Atomos Connect のアップデートを開始します。
10. ファームウェアのバージョンを確認します。(menu>info tab)

注意：Ninja V にファームウェア 10.81.00 が正常にインストールされると、ATOMOS CONNECT のファームウェアを更新するために本体が再起動されます。ファームウェアのインストール中は電源を切らないでください。

新機能：

ATOMOS Cloud Studio に接続

- **Ninja V をペアリングして、新しいクラウド型ビデオ制作サービスを利用する準備をしましょう。**
 1. Ninja V の Date メニューから、お住まいの地域の日付、時刻、タイムゾーンを設定します。
 2. CONNECT のメニューボタンで Ninja V を CONNECT モードにする。
 3. Wi-Fi または、Ethernet で Ninja V をインターネットに接続する。
 4. ATOMOS Cloud Studio のアカウントを ATOMOS CLOUD STUDIO から作成します。
 5. アカウントに新しいデバイスを追加し、Ninja V を選択します。
 6. Ninja V 上の CONNECT メニューで「Pair」ボタンを押した後に表示される 3 つの英単語を ATOMOS CLOUD STUDIO 上で入力します。

注：過去に Ninja V をアカウントと結びつけている場合は、再度追加、ペアリングの必要はありません。

FRAME.io - CAMERA TO CLOUD (以下 C2C)

高画質の“hero”ファイルと帯域幅を節約できる、“proxy”ファイルを、ファイル名とタイムコードを一致させて同時記録。

フル解像度の“hero”クリップ（最大 4Kp30）は、Avid DNxHR/HD または AppleProRes で記録でき、一方の“proxy”は H.265 で解像度 1080p で記録されます。

Ninja V を Frame.io ワークフローに対応させるための設定方法は以下の通りです。

1. ATOMOS Cloud Studio で Frame.io を保存先として選択します。
2. Frame.io のアカウントにログインするよう促されます。この段階でログイン情報を入力します。
3. 次のダイアログで、ATOMOS Cloud Studio が Frame.io アカウントにアクセスすることを許可してください。
4. ATOMOS Cloud Studio アカウントと Frame.io のペアリングが完了すると、Devices タブに戻ります。
5. ペアリングが完了すると、デバイスのメディア保存先として Frame.io プロジェクトを選択することができるようになります。

6. ATOMOS Cloud Studio のデバイス枠の下部に Frame.io が表示されるようになります。
トグルスイッチを有効にすると、過去に選択した Frame.io 先への接続をします。
7. 新しいブラウザウィンドウで、Frame.io アカウントにログインし、デバイスのメディア送信先として定めたプロジェクトに入ります。
プロキシファイルが送信され、個々のフォルダに保存されます。
8. Ninja V の CONNECT メニューを見ると、DeviceMode が Frame.io C2C であることが分かります。
また、選択した Frame.io プロジェクトが Destination に表示されます。
注： Frame.io プロジェクト内で、C2C Connections に入り、ATOMOS Cloud Studio でつけたニックネームと一致するように ATOMOS デバイスの名前を変更することをオススメします。
9. Frame.io project に接続され、Ninja V でクリップを録画すると、1080p,H.265(HEVC) プロキシファイルが生成され、プロジェクトに自動的にアップロードされるようになりました。
10. 録画停止後、画面上の緑の矢印は、ファイルが Frame.io にアップロードされていることを示します。
アップロードが完了すると、Ninja V は緑の丸いアイコンを表示し、
接続が待機状態であることを知らせます。
11. Ninja V から Frame.io にアップロードされたファイルは、Frame.io プロジェクト内の他のアセットと同様に移動、コピー、注釈、共有が可能です。

注：Frame.io Camera to Cloud ワークフローのための Ninja V のセットアップ方法に関するより詳細なガイドは、こちらをご覧ください。

注：Frame.io Camera to Cloud の活用方法の詳細については、frame.io/c2c を参照するか、[frame.io トレーニングシリーズ](https://frame.io/c2c-training)をご覧ください。(frame.io/c2c-training)

FRAME.io - CAMERA TO CLOUD (C2C) 運用上の注意点

- C2C の hero クリップにサポートされている全ての解像度とフレームレートの詳細な表は、ATOMOS Global FAQ をご覧ください。
<https://atomos.zendesk.com/hc/en-us/articles/5252721373583>
- ATOMOS デバイスは ATOMOS Cloud Studio を経由しないと、Frame.io にペアリングできません。
Frame.io 内から 6 桁のコード方式でペアリングすることはできません。
- ネットワークに接続されていない間に記録されたファイルは、ローカルに SSD に保存され、再接続すると自動的にアップロードのためにキューに入れられます。
- 本リリースでは、プロキシファイルは Frame.io に順次送信され、アップロード速度は最適化されません。
- プロキシファイルは固定ビットレートで記録されるように設定されています。
- Ninja V が CONNECT モードに設定されていても、デバイスの CONNECT メニューに Frame.io の送信先が表示されていない場合、Record ボタンはグレーアウトされます。
- デバイスのペアリングを解除したい場合は、ATOMOS Cloud Studio から Frame.io 接続を解除する必要があります。これにより、デバイスの C2C ペアリングも Frame.io から恒久的に解除されます。

バグ修正：

- Sony と NextorageSSDmini ドライブをより速く検出するようになりました。
- Ninja V をライブストリーミングに使用する際のオーディオを最適化しました。

今後のリリースで修正予定の既知の制限事項：

- 録画 / 再生モードを切り替える際、Wi-Fi とイーサネットの再接続に最大 10 秒かかることがあります。
- Wi-Fi の有効化が断続的に行われることがあります。
システムの再起動を促すダイアログメッセージが表示されることがあります。
- Facebook Live へのストリーミングは、現在 Atomos Cloud の送出先として選択、利用できません。
- **注意：**ストリーミングは、標準的な YCC422 ビデオ入力を使用し、記録コーデックが ProRes または、DNx に設定されている場合のみ利用可能です。ProResRAW または H.265 を選択されている場合、ライブストリーミングはできません。
- ProRes または DNx で 1080p23.98/24 を記録すると、かすかなバックグラウンドノイズが発生することがあります。
- YCC SDI 入力 で ProResRAW 録画モードで起動した場合、モニタリング映像が正しく表示されないことがあります。ProResRAW モードで Ninja V に RAW 信号を出力しながらのモニタリングと録画時は、正しく動作します。
- AtomX SYNC Module または Atomos CONNECT アクセサリーを使用し、記録フォーマットに H.265 を選択した場合、ネットワーク記録制御は使用できません。
- HDMI Compatibility モードを選択した状態で、異なるカメラモデルを接続する場合は、新しいカメラを接続する前に必ず Ninja V を再起動してください。